



県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒422-8062
静岡市駿河区稲川2-2-1
セキスイハイムビルディング7階
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@mail.wbs.ne.jp



白衣で「医師を増やせ！看護師を増やせ！休みが欲しい！」切実なシュプレヒコールに、街中から声援をもらう＝10日、静岡市内

5月10日、ナイチンゲール生誕に合わせ、静岡県看護連絡会（静岡自治労連・県医労連・静岡厚生連労組）主催の「静岡県ナースウェーブ集会」を静岡県産業経済会館で開催し140名が集まりました。

集会の開催にあたり新代表の中村富美子さんから「夜勤を続ける事はとても大変」と、自身の体調のことも触れ「弱音を吐き、声をあげて改善に結び付けよう」とあいさつし「昔まえば夜勤を『旦那は不倫に走り、息子は非行に走り、看護師は廊下を走る』と言われましたが・・・」と紹介したところ、参加者や講師の笑いを誘いました。日本看護協会の前会長で、東京医療保健大学副学長の坂本が教授が「看護師の働き方の現状と課題」のテーマで記念講演がありました。

手ぬくもりがある看護と介護 坂本さんの活動の原点である労組委員長や、看護協会会長時代、夜勤交替の勤務環境など自身の経験から、これからの看護職のありよう等を熱く語りました。中でも「ロボットが人を癒すことも可能な時代に『看護』とはなんだろう」と問題提起し「患者さんの求めるものはさまざま。臨機応変に対応できるのが人間」と力説されました。『背中をポンポン』という看護エピソードの朗読に「手のぬくもりがある看護・介護を

近年では最高の参加者、笑顔でパレード —— 静岡県ナースウェーブ集会 ——

目指したい」と参加者は感じました。

参加者からは「沢山の気付きと勇気をもらいました」

「働きやすい職場を作る」とが患者さんにも優しい看護につながる」「働きやすい職場づくりを皆で取り組んでいきたい」「坂本教授の講演にとても励まされた」等々大好評でした。

核兵器のない世界を訴え、県内を行進



晴天に恵まれた静岡市での平和行進

今年も原水爆禁止平和行進は5月6日東京夢の島を出発し、県内では5月19日に神奈川から引き継ぎ、県評車を先導に5月31日まで13日間わたって行われました。県評加盟の組織、単組からも要員はじめ多くの参加がありました。

17年7月7日の核兵器禁止条約採択、ヒバクシャ国際署名運動、北朝鮮の核兵器廃棄などが国際的な関心事となるなか、沿道の関心も高く、参加人数は延べ2000名を超え、沿道募金は80万円近く集まりました。

31日には、愛知への引き継ぎ集会が行われ、林克議長が、国際・国内情勢にも触れあいさつし「朝鮮半島の非核化への動きが、二転三転していたが、まさかこの状況が半年前に想像できたでしょうか。核兵器廃絶



ボードに書かれた要求を高く掲げる看護師＝産業経済会館

沿道から励ましをもらったパレード 正午から静岡繁華街をパレードし「医師を増やせ！」「看護師を増やせ！」「休みが欲しい！」と切実なコールができました。

参加の看護師から「少し恥ずかしかったが街の人々が声をかけてくれたり、立ち止まって聞いてくれて嬉しかった」「笑顔でパレード出来ました」「暖かい声を掛けてもらえて励みになった」との感想がありました。パレードは近年最高の人数となり、市民へのアピールができました。

JAL解雇撤回闘争

解決に向けた交渉が始まる

2010年の整理解雇問題が解決に向け大きな一歩を踏み出した！



JAL解雇撤回闘争において情勢に大きな変化が生まれました。5月14日、JALが新

たに国際線のLCC会社の設立に関する労組との説明会において、JALの人手不足を認め、それまでの方針を転換し、特別早期退職者、希望退職者、被整理解雇者もLCC新会社の採用対象者とする旨が語られました。

そのうえで、当該労組と整理解雇問題の解決に向けた具体的な話し合いを行っていくことと意思しました。

しかし、現時点では、会社の方針転換が示されたのみで、具体的な内容は示されていません。

しかし、この変化から、「日航の対応を踏まえ、当面、抗議行動等についてはペンディングとし、改めて判断したい」とする意向です。

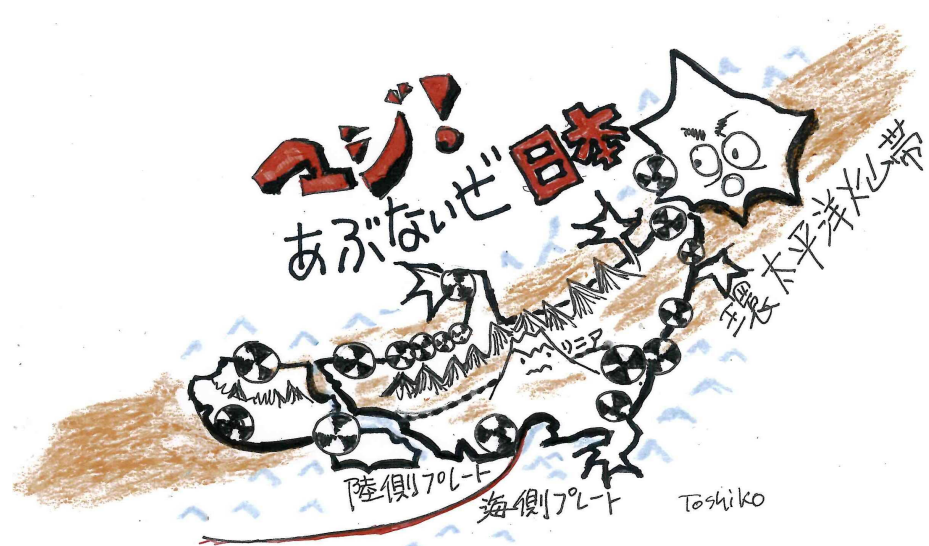
どこでも時給1500円に

6月9～10日、東京都内で「非正規ではたらくのかまの全国交流集会」（主催・全労連）が開催され、13の分科会や講座で交流をしました。9日の全体会では前文科省事務次官の前川喜平さんの講演がありました。

10日の分科会で、中澤秀一静岡県立短期大学准教授と一緒に議論しました。中澤氏は「住居費が安い地域でも、自動車維持費が加算され、全国で時給1500円程度が必要」「全国チェーンやフランチャイズは、仕事内容も商品の値段も同じなのに、地域別最賃に差があるのはおかしい」と強調しました。

この集会に、県評からも参加しました。

東南海トラフ被害 1, 410兆円！



雨にも負けず1400人 富士宮に集う

第56回 静岡県母親大会



「ねがいをつなぎ つくろう平和で幸せな明日を」をテーマに集まった参加者が会場を埋める。講師の渡辺治一さん（写真右）＝13日、富士宮市

5月13日、静岡県母親大会は富士宮で開催され、1400人を超える参加者で盛りあがりしました。また「文化と平和、女性を大事にする町」と市長のあいさつがありました。

午前中は、17の分科会が開かれました。それぞれ発表者や助言者のわかりやすい話に「来たかいがあった」との感想が聞かれました。

昼休憩には、特産物などを宣伝する声、署名をお願いする声、久しぶりの再会を喜び合う声などが響いていました。

自衛隊の記述 3つの危険性

全体会での記念講演は、渡辺治一橋大学名誉教授が「憲法を語ろう いのちが輝く未来のために」と題し行いました。

渡辺先生は、9条に自衛隊を書き込むのは、3つの危険性がある。

一つに、軍事組織としての自衛隊を書き込むことで、軍事組織の法制が整備される。たとえば戦争時に上官命令に従わなかったら刑罰が加えられる。

二つに、9条2項が死文化し、自衛隊が変質する。三つに、合憲とされる自衛隊は、戦争法により変質



帰りは大雨となり大変でしたが、バスの中で、参加した分科会の感想が発表され、それも勉強になりました。また「3000万署名をもっとがんばろうと思つた」との声も聞かれ、一日中、学びの場になった母親大会でした。

3000万署名 もっと頑張ろう

した自衛隊で、まさにアメリカが海外で引き起こす戦争に加担する。と指摘しました。

渡辺先生の話は、憲法の見聞性を学ぶことができ、元気をだしていこうとなるものでした。各地域・団体から、活動や課題などの報告がありました。

マスコミも注目 中部電力へ申し入れ

浜岡原発が停止してから7年目の5月14日、静岡市の青葉公園前で「原発なくす会静岡・金曜アクション静岡」などのメンバーで宣伝を行いました。その後、中部電力と静岡県へ要請と懇談を行いました。

青葉公園前では、県評の林克義氏が「今日14日は政府の要請により浜岡原発が停止して7年、全国で原発が浜岡だけ停止の要請があり、中部電力もこの要請に従った。危険な原発だと政府も中電も認識していたのではないか」「浜岡原発の周辺や敷地内に活断層があるのではないかとわれ、規制委員会が調査を始めた」と。また「原発はいらぬ。世界一危険な浜岡原発の再稼働反対、廃炉にしてほしい」と訴えました。中部電力への要請で、林議長は「福島原発事故は数十万人の人生を狂わせた、浜岡で同じような事故が起これば、この比ではない」と訴えました。中部電力の松浦弘靖課長は「原子力規制委員会の適合審査中で、本社に持ち帰り検討する」と答えました。県への要請には、県保険医協会の間間元理事長も加



中部電力へ要請書を渡す林県評議長

わり避難計画について、県民の安全安心を確保する計画かどうか県知事自身が同意の前提として判断するよう要請しました。また、病院や社会福祉施設の避難計画ガイドラインを作成し、避難計画を義務付けるよう求めました。県は、ガイドラインを作成し県も関わっていくと述べました。当日は多くのマスコミの取材もありました。

職場の安全衛生を実現するために

静岡県安全健康センター No.51

知的障害の青年労働者（以下K君）が自死した事件で、浜松労基署が労災不支給決定をした。この決定は憲法の平等原則に反し、障がい者差別である。労基署は、K君が受けた心理的負荷が、一般人を基準にすれば「弱」であり、労災でないとした。この点で、平成22年の名古屋高裁判決が「障がい者を一般人基準で判断したら労災保険法は障がい者には適用されないことになってしまうから、

浜松労基署は 労災不支給決定

本人を基準にすべきだ

本人を基準にすべきだ」とし、これは最高裁で確定した。ある法律が一部の人の「はなから」適用されないなら、憲法14条（平等原則）違反となる。



遺影を前に原告のご両親

次に労基署は「犯罪」も見逃した。例えば心臓に重い障害があり、無理できない労働者に、それと知りつつ無理させ、死亡させれば、傷害致死罪か、殺人罪である。今回労基署は、K君が受けた嫌がらせについても検討していた。そして嫌がらせは、業務指導の範囲内で、執拗でないもので心理的負荷は「弱」と判定した。実際あったことは次の通り。会社（上司）はK君が知的障害者と知っていたが現場にそれを伝えなかった。現場ではK君が抽象的な言葉や、専門用語を理解困難と知らず雨のよう

一人でも加入できる 労働組合を

5月22日に定例研究会「過労死等と長時間過密労働への対応」（相曽茂氏）が行われました。

平成29年2月23時過ぎに帰宅し、入浴しようとしたところ、発作を起こし、脳梗塞と診断された。現在は高次脳機能障害と診断され、治療とリハビリ治療を受けている。

作業内容は大型トラックで運ばれてきた冷凍製品をフォークリフトで倉庫内の荷受け場に運び入れ、積み上げていく。冷凍庫室はマイナス15度程度の極低温で「健康上特に有害な業務」である。時間外労働は、発症前6ヶ月間平均は約171時間である。現在労災を申請中である。

○実態その2

静岡県労働研究所 No.40

平成27年5月より体調がすぐれなくなり、適応障害、うつ病との診断を受けた。フロアーの主任職で、ウェイトレスなど店内における接客と店内の管理等を主として業としている。時間外労働は、6ヶ月平均128時間超である。労災が適用され、不払い残業代も支払われた。

○当面の提案

事例1と2のケースを救えるとしたら、労働現場に労働組合があつて、組合員が有機的に結合している状況しかない。組合組織率は

教育署名スタート集会

- ◇日時：7月14日（土）13:30～
- ◇場所：静岡県教育会館 地階C会議室
- 講演
- 「教育全国署名の意義を改めて考える」（仮）
- 講師：波岡知朗氏（全教中央執行委員）

99人以下の中小企業は加入できない。一人でも加入できる労働組合という新たな運動が画期的に必要な